

＜ もくじ ＞	
1. 2016年度定時総会・第15回大会速報	1～2
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 各研究会の概要報告	3～4
4. 事務局からお知らせ	4
5. 高齢社会フォーラムIn東京のご案内	4

1. 2016年度定時総会・第15回大会速報

2016年度定時総会および第15回大会は6月5日（日）、お茶の水女子大学本館3階306室で開催されました。

＜第一部 一般社団法人シニア社会学会総会＞

まず、第一部の総会では、袖井孝子会長の挨拶に続いて、司会の吉竹弘行運営委員より議長に川村匡由理事を推薦するむね説明があり、全会一致で了承し議事に入りました。第一号議案（2015年度活動報告）、第二号議案（2015年度収支決算報告）、第三号議案（2016年度活動計画案）、第四号議案（2016年度収支予算案）が説明され、全会一致で了承されました。このあと、臨時理事会が開催され、会長（代表理事）に袖井孝子氏、副会長に清家篤、濱口晴彦の2氏が選出されたことの報告、新理事3名を含めた、18名の理事が会場で紹介されました。

また、2016年度は2016年～2018年までの「第3期3ヶ年計画」の研究テーマ「持続可能な超高齢社会」の初年度であること、今年の大会テーマを「現代日本の格差と貧困」とし、年間を通して、研究活動、交流活動、事業活動を深化させる為の方針とビジョンが、袖井会長、長田攻一理事より説明されました。

＜第二部 一般社団法人シニア社会学会第15回大会＞

第二部-I 一般報告 ＜地域での活動から＞

長田攻一理事の司会で、佐藤敬（地域創生活動）、白木里恵子（早稲田大学創造理工学部助教）、駒宮淳子（福島避難者支援活動）の3氏より、地域での実践的な活動報告がされ、地域から持続可能な社会創造を可能にするにはどのような視点が必要であるか、現在取り組まれている身近な活動が報告されました。

第二部-II シンポジウム ＜現代日本の格差と貧困：持続可能な超高齢社会I＞

昼食を挟んで、駒村康平講師（慶應義塾大学教授）より「現代日本の格差と貧困」をテーマに基調講演がありました。さまざまなグラフを示され、年金制度、所得保障制度の手直しの必要性、生涯現役社会、年齢で差別しない社会の確立、仕事と介護の両立ができる社会、就業支援の強化、非正規労働者が、家族が持てるような対策などについて話されました。



続いて、同じテーマでのパネルディスカッションでは、伊藤憲祐氏（あやめ診療所院長）がプライマリ・ヘルス・ケア（住民の住民による住民のための保健政策の理念と方法論）について、平井葉子氏（パワフルエイジング研究会）が高齢者雇用の実践例について、川村匡由理事（武蔵野大学名誉教授）が、「現代日本の格差と貧困の状況、背景およびその解決策」について提言されました。また、駒村康平講師（慶應義塾大学教授）の南極のコウテイペンギンが円陣を組みながら互いの体温で温めあいつつ、子育てをするチーム力のお話しは感動的で、会場は大いに盛り上がりました。

その後、袖井孝子会長が会全体を講評し、濱口晴彦副会長が、「貧困の哲学・哲学の貧困」について、更に「政治の貧困」についてふれられて、閉会のご挨拶となりました。(尚、基調講演、シンポジウムの講演録は次号「エイジレスフォーラム」15号に掲載予定です)

<第三部 懇親交流会>

同大学食堂「マルシェ」に移動し、花崎良政理事の司会で開会、活発な意見交換や交流が行われました。袖井孝子会長は、詩吟も披露され、コンダクター(詩吟の伴奏楽器)の見事な指さばきと艶のあるお声に一同驚かされ、会場は更に和やかな雰囲気になりました。以上(中村昌子 記)

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第32回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2016年6月29日(水) 18:30~20:30
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 33号館3階第1会議室
- 3) 報告者：川副早央里(早稲田大学大学院文学研究科博士課程)
- 4) テーマ：「原発避難者の受け入れと難民問題の比較試論
—ドイツ短期留学の体験を踏まえて—」(仮)
- 5) 参加費：500円(ただし、社会人を除く学生、早稲田大学総合人文科学研究センター
<現代の危機と共生社会>研究部門および、早稲田大学プロジェクト研究所の
メンバーは無料)

※お問い合わせ、参加申込は事務局・福原(fukuhara@jaas.jp)迄お寄せ下さい

(2) 第19回「ガバナンス研究会」開催のお知らせ

- 1) 日時：2016年6月29日(水) 14:00~15:30
- 2) 場所：地域サロン「ぷらっと」(JR武蔵境駅北口徒歩5分)
- 3) テーマ：「参議院選挙を占う」
- 4) テキスト：なし
- 5) 参加費：500円
- 6) 申し込み：m_kawa@musashino-u.ac.jp、携帯090-3102-8446(川村理事)

(3) 第20回「ガバナンス研究会」開催のお知らせ

- 1) 日時：7月6日(水) 14:00~15:30
 - 2) 場所：地域サロン「ぷらっと」(武蔵境駅北口徒歩5分)
 - 3) テーマ：「参議院選挙を占う パートⅡ」
 - 4) 参加費：500円
- *申し込み m_kawa@musashino-u.ac.jp、携帯090-3102-8446(川村理事)

(4) 第95回 社会保障研究会 開催のお知らせ

- 1) 日 時：2016年7月6日(水) 18:00~20:00
 - 2) 報告者：廣瀬 真理子(東海大学教養学部 教授)
 - 3) テーマ：「オランダの高齢者医療・介護政策の動向」
 - 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室
東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階
- ※ご質問がございましたら、佐藤まで。090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

(5) 第35回「シニア社会のリテラシー研究会」のお知らせ

- 1) 日 時：2016年7月28日(木) 15:00~18:00
 - 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
 - 3) テーマ：濱口座長のレクチャー：「格差と貧困」とは何か 一生産、消費、配分チャートを用いたその考現学的考察—
 - 4) 参加費：300円
- *お問い合わせは、事務局・島村(ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)まで。

(6) 「シニアのICT活用研究会」の開催について

* 研究会は休会中であり、再開が決まり次第改めてお知らせします。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第33回「シニア社会のリテラシー研究会」の報告

1) 日 時：2016年5月23日(月) 15:00~18:00

2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室

3) テーマ：①安田コーディネーターから「格差と貧困」をテーマにした問題提起と論議
—今年度当学会の年間テーマである「現代社会における格差と貧困」を念頭に「シニア社会のリテラシー研究会」らしい切り口で研究して行く第1弾として、安田コーディネーターから問題提起があり、意見交換を行なった。
②コミュニケーション・タイムでは、本田重道さんから「一億総活躍社会」についてのご自身の考えと、出版の構想についての説明と要請があった。佐藤敬さんからは、熊本地震の現地訪問をされた生々しい報告があった。

* お問い合わせは、事務局・島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) まで。

(2) 第31回「災害と地域社会」研究会の概要報告

1) 日 時：2016年5月25日(水) 18:30~20:30

2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス39号館5階第5会議室

3) 報告者：浅野幸子(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表、
専修大学非常勤講師)

4) テーマ：「地域の防災力・持続可能性とジェンダー構造—大規模災害で女性が直面した困難を踏まえて—」

浅野幸子さんは、大学卒業とともに阪神淡路大震災のボランティアに出かけ、仮設住宅、全焼地域で復興まちづくりに4年間従事し、帰郷後は(財)消費生活研究所、全国地域婦人団体連絡協議会で働きながら、災害社会学をテーマに大学院で学び、現在は「男女共同参画研修推進センター」の共同代表を務めておられます。今回の報告は、大災害を念頭に地域社会の防災力を持続させる諸条件を考える上で、「ジェンダー」の視点の重要性を訴えることを狙いとしています。そして、「地域社会の防災力」を考える視点から、また、国際的動向も踏まえながら、地域防災組織における活動におけるジェンダー関連課題を探ります。

仙台市、千葉市、四日市市など、国内の「地域防災活動促進」のいくつかの事例を紹介され、その先進的取り組みを評価するとともに、それらの考察を通して最後に、「ジェンダー視点から被災者支援・地域の防災対策の在り方を分析する意義」をまとめておられます。現代日本の女性には、①家事・育児・介護など複合的な要素がまとわりつく傾向が強いこと、②女性にはプライバシー保護を必要とする領域がかなり広いこと、③日常生活における役割の固定化がなされていること、④その結果、多様な価値観による災害対応が制約を受けることになることといった点を、大規模災害が起きた地域での事例や、地域防災組織での様々な取り組み、国際的動向などを踏まえて、指摘されました。(長田記)

(3) 第34回「シニア社会のリテラシー研究会」の報告

1) 日 時：2016年6月16日(木) 15:00~18:00

2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室

3) テーマ：濱口座長のレクチャー：「河上肇『貧乏物語』(岩波文庫)からの話題提供」
濱口座長は、当学会の新3ヶ年計画の大テーマが「持続可能な超高齢社会」と設定され、1年目(2016年度)のテーマが「現代日本における格差と貧困」に決まったことを受けて、当課題に取り組むに当たり古典に学ぶことが大切であると言わ

れた。そして今回は100年前に発行の河上肇著『貧乏物語』を取り上げられ、今日への問題提起を講義された。

*お問い合わせは、事務局・島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) まで。

4. 事務局からお知らせ

- ① 2016年度年会費納入期限は、6月30日です。一般社団法人シニア社会学会は、会員の皆様の年会費で運営しておりますので、まだ納入されていない方は、納入期限までにお振込みいただきますようお願いいたします。
- ② 去る6月5日に開催されました2016年度定時総会、並びに第15回大会を欠席されました会員の方々に「エイジレスフォーラム」第14号、第5号議案（理事選任案、全員一致で可決されました）、及び「2016年度連続講座・開催のご案内」を6月22日に送付いたしました。
ついては、6月末日になってもお手元に届かない時は、お手数でも事務局までご連絡ください。

5. 高齢社会フォーラム in 東京のご案内

来る7月20日（水）内閣府主催のイベント「高齢社会フォーラム in 東京」が開催されます。袖井会長が第1分科会で「多世代交流のコミュニティ」のテーマで、そして澤岡理事が第3分科会で「カリスマな活動から地域それぞれの在り方を探る」のテーマで企画運営を担当されますのでご案内致します。詳細については、添付のチラシをご覧ください。

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX：(03) 5778-4728
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>